

クラス構成

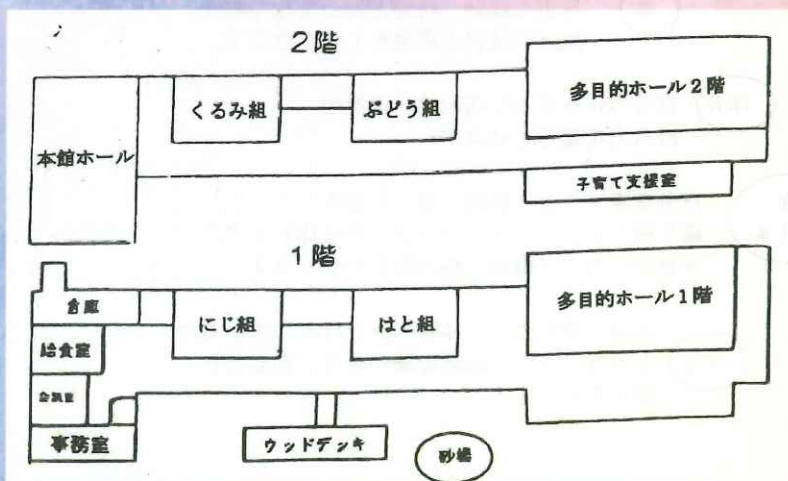
定員	70名	
0才児	にじ組	6名
1・2才児	はと組	15名
3・4・5才児	ぶどう組	24名
3・4・5才児	くるみ組	25名
(3才:13名 4才:17名 5才:19名)		

職員 21名 (保育士/栄養士/調理師/事務員/園長
/保育非常勤/マイスター非常勤)

保育時間

	0才	1・2才	3・4・5才
7:00	登園・検温	登園・視診	登園・視診
8:00			
:30			
9:00	9時	までに登園	登園
10:00	眠り・あそび	あそび:室内/外	あそび:室内/外
11:00	ミルク・離乳食	食事	課業
12:00		午睡	食事
13:00	眠り・あそび		午睡及びあそび
14:00			
15:00	ミルク・離乳食	おやつ	おやつ
16:00	あそび・休息	あそび:室内/外	あそび:室内/外
:30	順	次降園	園
17:00			
18:00	延	長保	育
19:00			
20:00			

平面図



まぶね保育園

保育短時間 8:30~16:30
 保育標準時間 7:00~18:00
 延長保育 18:00~20:00
 (延長保育料金 60分毎 500円)



学校法人信愛学園 まぶね保育園
 〒819-0379
 福岡市西区北原2丁目39-34
 電話: 807-1379
 FAX: 807-6544
 メール: shinai@mabune-hoikuen.net

小さな子ども達にとって大事なことは、
毎日を安心して楽しく過ごせることです。

理念

ゆったりと安心して過ごせる「家庭的な雰囲気」
の保育室の中で、保育者や友だちから自分の思い
を受け止められ、友だちと協力していく中で豊かな
感性と社会性の芽生えが育ってほしいと思います。

【こんな子どもに】

- ・健康な体と心の子ども
- ・よく見、聞き、感じ、自分で思ったことを
素直に表せる子ども
- ・体を動かすことに喜びをもつ子ども
- ・友だちといることを楽しいと思い、
協同していく子ども

子どもの行事

春：入園/進級を祝う会
ファミリーデー
花の日礼拝

夏：プール/水あそび
夏まつり
お泊り保育（年長）
同窓会(カミングデー)

秋：おじいさん/おばあさんへお手紙
運動会
お芋ほり
消防署見学（年中/年長）
収穫感謝祭
ファミリー・ピクニック

冬：クリスマス会
観劇会
さよなら遠足
卒園式

*誕生祝いは個別に行ないます。

保護者参加の行事（いずれも土曜日）

- 4月 保護者顔合わせ会
- 5月 ファミリーデー
- 7月 夏まつり
- 10月 運動会・クラス懇談会
- 11月 親子ピクニック
- 12月 クリスマス会
- 2月 クラス懇談会（含む講演会）
- 3月 卒園式

その他

- 避難消火訓練（毎月）
- 健康診断（春/秋）
- 身体測定（毎月）
- 歯科健診（春）



《乳児期》0才児～2才児クラス

落ち着いた雰囲気と発達に合った遊具、それを見守っている大人との良い関係は、子どもを自由にし、子どもの力を発揮させます。
あそびは子どもにとって喜びであるとともに賢さや運動機能も発達させます。



*** 0才児 ***
見る、触る、舐める、這う、歩く等の行為から探索していきます。
身体の動きが自由になってくると、もぐったり、出たり入ったりしながら世界を広げていきます。



*** 1才児 ***

たくさんの探索活動から、物と物との関係性を学び、繰り返しながら新しい発見をして可能性を広げていきます。
ことばの獲得、記憶力の発達により思う存分自分を発揮し、自信を持つようになります。



*** 2才児 ***

周りの世界が広がり、仲間と一緒に遊びたいという欲求が強まります。
自分がしたいことの要求もはっきりし実現した時の喜びが成長に繋がります。



ゆったりとした育児を！

乳児期の子どもは、世話をしてもらいながら色々なことを学び、次第に自分でできることが増えてきますので、一人ひとりの子どもをゆったり世話をします。

◇ 同じ保育者が育児をします。

保育者が食事や排泄、睡眠等のお世話をします。
子どもが保育園にいる間、子どもを担当する
どもには拠り所になる「特別な人」が必要で
気持ちも安定して健やかに成長します。
担当がお休みの場合は予め決めている副担当の
保育者が代わってお世話をします。

◇ 流れる日課

自由な遊び、ゆったりとした育児を行うために
担当の保育者達が協働し、子どもは自分の育児
ぎりぎりまで遊ぶことができ、保育者は担当の
子ども一人ひとりの育児行為のお世話ができます。

《幼児期》3才児～5才児 異年齢混合クラス

自分の身の回りのことは、ほとんど自立してできるようになり、周りの人達とのコミュニケーションや振る舞い方も巧みになります。保育者や友だちと一緒に同じ体験や経験を増やしていきます。3才～5才の子ども異年齢混合
クラスは、経験を多様にするチャンスを増やし、発達を有利にします。

*** * * * * * * * * * *

幼児期になっても遊びが主体です。
遊べる条件があれば、無限といっても良いほど頭と体を使って遊び、学びます。保育者の手伝いやクラスのための仕事も引き受け喜んで小さい子のお世話をします。

*** * * * * * * * * * *

保育者が計画する意識的な学習でも学んでいきます。
日常生活の中で、たくさんの経験をする事と合わせて、自分の感覚器官を十分に使い、知識を獲得する学習が
子どもをより成長させます。



* 3・4才児は午睡をします。
* 金曜日の午前中、プールに行きます。
参加されない方は通常保育を行います。



環境認識

子どもの身近にある自然、社会的環境について日常的な体験を知識として学びます。
保育園周辺の公園に散歩に行きます

音楽

わらべうた 日本の伝承わらべうたを教材にして聞く耳と清潔なうたい方、リズム感を獲得します。

数

身近な経験、材料を使って数学的な概念の獲得と思考をしていきます。

体育

自分の体を使って巧緻性、柔軟性持久力を発達させます。

描画手仕事

自分を表すこと。課題に沿って絵をかくこと。
織り機でポシェット、マフラー等を作ります。
年長児になると織機で編み物をつくります。

文学

お話、詩が喜びと体験の源となり、生きる力ともなるようにお話を聞いたり、覚えたり、演じたりします。